

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【公開番号】特開2013-123459(P2013-123459A)
【公開日】平成25年6月24日(2013.6.24)
【年通号数】公開・登録公報2013-033
【出願番号】特願2011-272131(P2011-272131)
【国際特許分類】

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

【FI】

A 6 1 B 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体に接触可能な生体接触部と、
グリップ部と、
接触あるいは接近によって操作が行われる非機械式スイッチと、
前記非機械式スイッチへの操作に基づいて検査条件の切り換えを通知する通知手段と、
を有することを特徴とする生体検査用プローブ。

【請求項2】

前記検査条件が表示されるモニターが設けられていることを特徴とする請求項1に記載の生体検査用プローブ。

【請求項3】

前記モニターは、前記非機械式スイッチを兼ねていることを特徴とする請求項2に記載の生体検査用プローブ。

【請求項4】

前記通知手段は、有線で操作信号を出力する信号出力部であることを特徴とする請求項1乃至3の何れか一項に記載の生体検査用プローブ。

【請求項5】

前記非機械式スイッチは、光学式スイッチであることを特徴とする請求項1乃至4の何れか一項に記載の生体検査用プローブ。

【請求項6】

前記光学式スイッチは、赤外光の発光および受光を利用した赤外線スイッチであることを特徴とする請求項5に記載の生体検査用プローブ。

【請求項7】

前記非機械式スイッチは、凸状領域または凹状領域部に設けられていることを特徴とする請求項1乃至6の何れか一項に記載の生体検査用プローブ。

【請求項8】

前記生体接触部は、超音波の発生および受信を行うことを特徴とする請求項1乃至7の何れか一項に記載の生体検査用プローブ。